



2023年6月28日

各 位

会 社 名 日鉄ソリューションズ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 玉置 和彦  
(コード：2327、東証プライム)  
問合せ先 管理本部 総務部長 日下 尚志  
(TEL. 03-6899-6000)

### 支配株主等に関する事項について

当社の親会社である日本製鉄株式会社について、支配株主等に関する事項は、以下のとおりとなりますので、お知らせいたします。

#### 1. 親会社、支配株主（親会社を除く。）又はその他の関係会社の商号等

(2023年3月31日現在)

名称	属性	議決権所有割合（％）			発行する株券が上場されている 金融商品取引所等
		直接所有分	合算対象分	計	
日本製鉄株式会社	親会社	63.44	—	63.44	(株)東京証券取引所プライム市場 (株)名古屋証券取引所プレミアム市場 証券会員制法人福岡証券取引所 証券会員制法人札幌証券取引所

#### 2. 親会社の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

##### (1) 親会社の企業グループにおける当社の位置付け、親会社やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的關係

日本製鉄(株)は当社議決権の63.44%(本年3月31日現在)を所有する親会社であります。同社は、製鉄事業を推進する事業会社であると同時に、エンジニアリング、ケミカル&マテリアル、システムソリューションの各事業の運営を行う事業セグメント会社の持株会社であり、事業セグメント各社は日本製鉄グループ経営戦略を共有し、独立的・並列的に事業を推進しております。当社は、システムソリューションの事業セグメント会社として、同社の情報システムの企画、設計、開発及び運用・保守を内容とするフルアウトソーシングサービスの提供をはじめ、大規模レガシーシステムのモダナイゼーションに取り組んでおります。また、同社が2021年3月に発表した中長期経営計画の柱の一つとして掲げたデジタルトランスフォーメーション戦略の推進において、当社は中核パートナーとしてデータとデジタル技術を駆使した業務プロセス改革・生産プロセス改革の推進に積極的に参画しております。

人的関係については、提出日現在において、同社の執行役員（1名）が当社の監査等委員でない非常勤取締役を務めております。また、本年3月31日現在において、同社から当社で19名、当社の子会社で33名の出向者を受け入れております。

(2) 親会社の企業グループに属することによる事業上の制約、リスク及びメリット、親会社やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的關係などの面から受ける経営・事業活動への影響等

当社は、日本製鉄㈱の子会社として日鉄ブランドを社名に冠し、社会から信頼されるシステムインテグレーターとして事業を展開しております。

当社は、同社と安定的な取引を継続しており、当社最大の取引先である同社に対する 2022 年度の連結販売実績は 57,912 百万円(割合 19.9%)となっております。また、同社の情報システムのフルアウトソーシングサービスの提供他による業務知見の獲得、先端 IT 技術適用事例の蓄積に加え、同社の業務プロセス改革や生産プロセス改革等の DX を全面的にサポートする中での、顧客が DX に取り組む際の多くの知見の獲得が製造業他における当社の差別化要素の一つとなっております。当社は、これらを通じて得た競争優位性のある技術的成果を汎用的なソリューションとして、他の事業領域における DX を推進する顧客に向けて提供しています。

(3) 親会社からの一定の独立性の確保の状況

上記(1)及び(2)から、当社は親会社からの一定の独立性が確保されていると考えております。

3. 親会社との取引に関する事項

当社と親会社との取引に関する事項については、当社決算短信「関連当事者との取引」をご参照ください。

4. 親会社との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

当社は、親会社より社内情報システムの構築及びその運用保守業務等を受託していますが、価格等の取引条件は、他の顧客との契約条件や市場価格を参考に合理的に決定しております。

また当社は、親会社に対する資金の預託について、市場金利等を勘案し合理的に決定しております。

親会社との重要な取引・行為については、その発生の都度、独立社外取締役全員で構成される「親会社取引等審議委員会」を設置し、審議・検討を行い、その結果を踏まえ取締役会にて決定します。

当社取締役会は、親会社との取引については、当社の一般的な取引と同様の条件でなされており、当社の利益を害していないと判断しております。

以 上